



島根県内で見つけた「エシカル」につながる（エシカってる）行動や事柄を Facebook で紹介しています。

vol.8

「消費」の国の片隅で 3月11日に寄せて

Upload:

2022/3/11

東日本大震災から11年。

今日は、あの日とは違って春らしい暖かい日和になった。

震災直後、被災地はもちろん、関東周辺地域では生活用品が品薄になり、買い占めが発生したり、西に離れた地域の親族が購入して送ってあげたりした。

電力の供給量が不足すると計画停電などでしのいだ。消費電力の多い夏場には、集まって涼を分け合う「クールシェア」があった。自然災害の前で、個人の「消費」生活はもろく崩れて、お互いに融通（シェア）しあうようになった。

日本人は、このシェアが上手な人の割合が多いようで、しばしば世界を驚かす。

分け合えるものが手元にあるうちは良いが、絶対的な不足が生じた場合はどうだろう？

「消費」の向こう側には、同じだけの「生産」がある。

等価交換で取引をしていると思っても、更に高い価値を提示されれば、生産物は新たな需要に取り込まれてしまう。

日本の食料自給率はカロリーベースで37%（農水省：2020年）、エネルギー自給率は2018年度時点で11.8%（経産省）。いずれも、以前の統計値より低下しているという。

東日本大震災を境に、そんな日本の生活形態が見直されることになるだろう・・・

そんな未来を予想した、あるいは予感した人もあった。

あれから11年経った今の日本は、理想の姿に変わったのだろうか。

「エシカル消費」は、できる事から少しずつ。

1人1人の取組の積み重ねが、新しい消費の習慣を形作り、持続可能な社会へとつながる。

3月11日、日常の「消費」が失われた出来事は、その根本に向き合う貴重な経験だったのではないか。

### 「エシカル消費」の推進

「エシカル（ethical）」とは、「倫理的、道徳的」という意味の英語。

「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境などに配慮した消費行動のことです。

詳しくは、島根県消費とくらしの安全室の「エシカル消費の推進」のページをご覧ください。

[https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi\\_info/ethical.html](https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi_info/ethical.html)

島根県環境生活部環境生活総務課

消費とくらしの安全室（島根県消費者センター）

〒690-0887 島根県松江市殿町8-3

島根県消費者センター

Facebookは  
こちらから→



[facebook.com/Shimane.CIC](https://facebook.com/Shimane.CIC)